



4月から 第6次高浜市総合計画がスタート!

キャッチフレーズは

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

問合せ先 地域政策グループ(内線352)

◆総合計画は「高浜市のまちづくりの設計図」

総合計画は、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識のもと、将来を見通しつつ、時代の変化や課題に的確に対応していきながら、「こんな高浜市にしていこう」というまちづくりの目標を掲げ、その実現に向けて必要な取組内容を盛り込んだ「まちづくりの設計図」です。平成21年12月に発足した「高浜市の未来を

描く市民会議」(公募市民・市職員148人)が中心となって、120回以上の討議を経て、約1年がかりで案が練り上げられ、平成23年1月議会で可決されました。

これからの高浜市のまちづくりは、この設計図を市民・議会・行政が共有し、役割分担をしながら、みんなで力を合わせて進めていきます。

◆将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」

将来都市像とは、高浜市が目指すべき姿のキャッチフレーズ。この言葉には、次のような想いが込められています。



高浜市は、行政だけでなく、住んでいる市民、高浜市をよりよいまちにしていこうと活動している団体、事業所やそこで働いている人、学校などで学んでいる人など、さまざまな人たちの営みによって成り立っています。

それらすべてを1つの家族、すなわち「大家族」と見立て、思いやり、支え合い、手と手をつなぎながら、みんなで高浜市を創り上げていくことを目指します。

思 い や り

一人ひとりが、高浜市に関心や愛着を持っていきたいね。お互いの立場を理解・尊重し、対等で、心の通いあう関係を築いていこう。(パートナーシップ)

支 え 合 い

お互いに心を通わせ、助け合い、補完しあっていこう。子どもからお年寄りまで、事業者や団体も含め、一人ひとりが持っている力(知恵、技能、時間、笑顔、産業、活力etc.)を伸ばし、高浜市づくりのために出し合い、みんなで高浜市を支えていこう。

手と手をつなぐ

個性の異なる者同士がつながりあい、交流を育みながらコミュニケーションを豊かにし、ネットワークを築くことでまちに多様性が生まれます。それらを高浜市の成長・発展に向けての大きなエネルギーにしていきたいね。

大家族たかはま

「個々の力でできることは個々で行う」「地域のみんなで力を合わせればできることは、その中で行う」「地域のみんなで力を合わせてもできないことは、高浜市全体で行う」という考え方のもと、みんなで高浜市のことを考え、行動に移していくという「市民自治都市・高浜市」をみんなで創りあげていこう!

第6次高浜市総合計画の全容や策定経過の詳細などは、高浜市公式ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.city.takahama.lg.jp/>

トップページの「第6次高浜市総合計画」をクリックしてください。